

平成27年5月9日（土）強化部中学生弓道講習会受講生感想

N.T（3年女子 初段）

開講式で、ストレッチを前に行き出た。緊張してうまくいかなかった所もあったけど、後ろまで声が聞こえたそうなので、よかった。リーダー講習会で教わったストレッチをノートに書いておいて良かったと思った。よりよい伸ばし方も教わったので、活用していきたい。

射技指導では、初めて知ったこと、知っていてもできていないことなど、多くのことを教えていただいた。多くの発見があった。直すところだけでなく、皆さん自分流の直し方、練習の仕方なども教えて下さったので、とても分かりやすかった。3人の先生がおっしゃっていた押手の親指について、特に驚いた。大三で2つ前の的を狙い、会で1つ前、残心で自分の的に押手の親指が向くようにというお話だった。今までは、ずっと自分の的に向くのかと思っていたので驚いた。「会で手の内が堅い。」と、どの講習会でも注意していただいていたことだけれど、その理由が分かった。

詰合い、伸合いという言葉でも、「反対側の的を破るように伸びる。」「肩を下げながら開く。」「矢を自分に近づけ、矢と一体になるように。」など、いろいろな言い方があった。教本を読むだけでは、分からないこと、イメージしにくいことも、とても理解しやすかった。

射法だけでなく、まだ甘い動作についても教えていただいた。六段などの有段者、審査員ならではの見方も教えていただいた。特に私は、基本の動作がまだまだできていないのだと痛感した。知っているのにできていないことは、もちろん直さなければいけないし、今まで勘違いしていた乙矢を腰にとる方法など、日々の稽古で手を抜かずにしないといけないと思う。そして、その間違っただけのやり方を後輩にも教えてしまったかもしれない。全員でもう一回見直した方が良いなと思った。「三段に挑戦するなら、もっと細かい所ができていないといけない。」「まだできていない。」と、とても厳しい言葉だったけれど、とてもありがたいと思った。日々の稽古で、この言葉を思いだし、一つ一つの動作をもう一度見直し、大切にしていかなければならないと思った。

今回も、実際に先生の射を見せていただいた。私は、先生方の離れが良く見える良い位置だった。矢筋に離れるとは、こんなことなのか。胸の中筋から左右に開く、あたかも風船が割れるように。弓道教本に書いてあることは実際にこんなものだったのかと実感した。「離れ」ではなく、「会の延長」といった感じだった。

西田先生が是非見ておくと良いとおっしゃった手の内に注目し、2射目を見せていただいた。「爪そろえが残心まで、一直線」だったのが、とても印象深かった。射技指導で教えていただいた押手の親指の向きを見て、こうするんだなと思った。当然だけど、射形がきれいだと中るんだなと改めて感じた。「8射7中」やっぱりさすがだなと思った。

今回は、なんと、先生方5人と生徒10人での対戦があった。私は、どうしても出たくてみんなが遠慮している中、押し切った。中てることができ良かったなと思う。とても緊張したが、講習会で教わったことを生かして引いた。冬に比べて成長したなと思った。とても大きなハンデをもらったけど、勝つことができ良かった。とても光栄！後から、他の学校の生徒とも話したけど、あの緊張の中でも、的芯に中てることのできた人たちと、これからの試合で戦うのだと思うと、もっと頑張らなければならないなと思った。でも、今日中てることのできたのを、自信に頑張りたい。

今回は、遠的も見せていただいた。私は、今まで国体選手は、遠的専門の方だと思っていたけれど、近的も両方しているのを知り、驚いた。混ざらないのかなと思っていたら、斜めに矢を上げて近的と同じだと伺い、近的を極めているからなんだと思った。また、近的のように、前にある的を狙うのではなく、みんな違う場所から同じ的を狙っていて、これもとても驚いた。そして、考えれば当然だけど、近的では、弦音の直後に的中の音がするのに、遠的では、随分時間差があって面白いなと思った。同じ弓道なのに、こんなにも違うんだなと思った。できるなら、やってみたい!と思った。

先生方は、とても優しく、指導も分かりやすかった。中には、「去年も会ったなあ。」など、覚えていて下さった方もいらして、とても嬉しかった。ほめて下さったり、厳しい言葉をかけて下さったり、たくさん話しかけて下さったり・・・と引いているところの真剣な表情とは違い驚いたが、とっても素敵だなと思った。

今日の講習会で多くのことを学んだ。そして、国体に対する興味がもっとふくらんだ。今日教えていただいたことを生かして、もっともっと多くのことを学び、頑張りたい。

先生方、本当にありがとうございました。

K.S (3年女子 1級)

(略)

質疑応答では、私たちの質問に対して親身になって返していただき、疑問に思っていることを知ることができました。また、先生方の弓道に対する気持ちがすごい伝わってきて、私もさらに弓道が好きになりました。

(略)

来年度に向けての希望

- ・全員の先生から習ってみたい。(27年度は、4名の先生から指導を受けた。)
- ・先生との対戦は、もう少し、ハンデを減らしてしてみたい。ハンデなしもしてみたい。
(27年度は、5人対10人)
- ・一人の先生から、2～3射の指導だったので、ローテーションを減らして、一人の先生からもっと深く教えてもらうのも良い。
- ・もう少し回転を速くして、たくさん指導を受けたい。
- ・大切な指導ポイントは、全員を集めた形で説明を聞きたい。
- ・先生方との対戦、近的、遠的の模範演武は、来年も継続して欲しい。
- ・矢取りの順番が決まっていると分かりやすいと思った。

※ 失礼ながら、生徒の感想などを、文言をほとんど原文のまま載せてあります。

※ 各学校の顧問からも、今年度は内容も豊富で良かったとの感想が寄せられています。